

土壌・廃棄物に関する基準値等一覧表

修正：2019年12月1日

適用法規 物質名	基準	土壌含有量基準 (mg/Kg)	土壌溶出量基準 (mg/L)	第二溶出量基準 (mg/L)	土壌環境基準 (mg/L)	農用地土壌汚染対策地 域の指定の要件	特別管理産業廃棄物の 判定基準 (mg/L)
	対象	土壌	土壌	土壌	土壌・ 米(田に限る)	土壌・米	廃棄物 (汚泥) ^{※1}
	法	土壌汚染対策法	土壌汚染対策法	土壌汚染対策法	環境基本法 ダイオキシン特措法	農用地の土壌の汚染防 止等に関する法律	廃棄物処理法
四塩化炭素	第1種特定有害物質	—	0.002	0.02	0.002	—	0.02
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)		—	0.002	0.02	0.002	—	—
1,2-ジクロロエタン		—	0.004	0.04	0.004	—	0.04
1,1-ジクロロエチレン		—	0.1	1	0.1	—	1
シス-1,2-ジクロロエチレン		—	—	—	—	—	0.4
1,2-ジクロロエチレン ^{※5}		—	0.04	0.4	0.04	—	—
1,3-ジクロロプロペン		—	0.002	0.02	0.002	—	0.02
ジクロロメタン		—	0.02	0.2	0.02	—	0.2
テトラクロロエチレン		—	0.01	0.1	0.01	—	0.1
1,1,1-トリクロロエタン		—	1	3	1	—	3
1,1,2-トリクロロエタン		—	0.006	0.06	0.006	—	0.06
トリクロロエチレン		—	0.03	0.3	0.03	—	0.1
ベンゼン		—	0.01	0.1	0.01	—	0.1
カドミウム及びその化合物	第2種特定有害物質	150	0.01	0.3	0.01 (0.03) ^{※3} 米1kgにつき0.4mg以下 (農用地)	米1kgにつき 0.4mg 以上 (農用地)	0.09
六価クロム化合物		250	0.05	1.5	0.05 (0.15) ^{※3}	—	1.5
シアン化合物		50 (遊離シアンとして)	検出されないこと	1	検出されないこと	—	1
水銀及びその化合物		15	0.0005	0.005	0.0005 (0.0015) ^{※3}	—	0.005
アルキル水銀		—	検出されないこと ^{※6}	検出されないこと ^{※6}	検出されないこと	—	検出されないこと
セレン及びその化合物		150	0.01	0.3	0.01 (0.03) ^{※3}	—	0.3
鉛及びその化合物		150	0.01	0.3	0.01 (0.03)	—	0.3
砒素及びその化合物		150	0.01	0.3	0.01 (0.03) ^{※3} 土壌1kgにつき15mg未 満(農用地(田に限る))	土壌1kgにつき15mg以 上又は10～20mgの範囲 で都道府県知事が定め る値以上 (農用地(田に限る))	0.3
ふっ素及びその化合物		4000	0.8	24	0.8 (2.4) ^{※3}	—	—
ほう素及びその化合物		4000	1	30	1 (3) ^{※3}	—	—
シマジン	第3種特定有害物質	—	0.003	0.03	0.003	—	0.03
チオベンカルブ		—	0.02	0.2	0.02	—	0.2
チウラム		—	0.006	0.06	0.006	—	0.06
ポリ塩化ビフェニル(PCB)		—	検出されないこと	0.003	検出されないこと	—	0.003
有機りん化合物		—	検出されないこと ^{※2}	1 ^{※2}	検出されないこと ^{※2}	—	1
ダイオキシン類	その他	—	—	—	1000pg-TEQ/g ^{※4}	—	3000pg-TEQ/g
銅及びその化合物		—	—	—	土壌1kgにつき 125mg未満 (農用地(田に限る))	土壌1kgにつき 125mg 以上 (農用地(田に限る))	—
1,4-ジオキサン		—	—	—	0.05	—	0.5

※1 対象物によって値が異なるため、汚泥の基準値を記載した

※2 有機りん化合物：パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNに限る

※3 汚染土壌が地下水水面から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水1リットルにつき環境基準値を超えていない場合に適用

※4 環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとされている。(備考 1,000pg＝1ng)

※5 シス-1,2-ジクロロエチレンとトランス-1,2-ジクロロエチレンの和

※6 水銀の測定を行なって検出されない場合は、アルキル水銀の測定はしなくてもよい

なお、内容には正確を期すようにしておりますが、万が一誤りがあった場合、それによる損害は補償しかねます。